

「学校・学科の充実の方向性（整理案）」に対する
第1分科会委員への意見照会結果

○○…検討箇所 △△…字句修正

第1 魅力ある高等学校づくりに向けた基本的な考え方

頁	項 目
1	1 検討に当たっての視点
◆加除修正に関する意見	
1	○ P1「(1) これからの時代に求められる力の育成」の第1項目に、「 <u>自分を愛する心</u> 」という言葉が記述されているが、 <u>文科省や県教委が使ってきた言葉なのではないか。日常的には学校で使っていないと感じるので、どの資料で確認できますでしょうか。</u>
1	○ (1) これからの時代に求められる力の育成 このような不易な力に加え、 <u>～創造力などの子どもたちの夢や志に応じた力の育成も必要である。→創造力など、子どもたちの夢や志の実現を支える力</u>
2	○ (3) 高等学校に求められること <u>生まれた場所や経済状況によらず→家庭環境</u>
1-2	2 高等学校教育の方向性
◆学校・学科の充実の方向性についての意見	
2	○ 「探究的な学びや学科横断的な学び」の推進は重要と考えます。
2	○ これまでの常識にとらわれない「魅力」づくりは大切だと思うが、社会に出る前の基礎知識・基礎学力をじっくり身につける普通の学習も大切だと考える。

第2 これからの時代に求められる高等学校の魅力づくり

頁	項 目
3-6	1 教育活動の更なる充実
	◆加除修正に関する意見
5	○ P 5 (2) 「ウ 今後の方向性」において、 <u>遠隔授業を推進しようというスタンスで始まっているが、(学習支援での活用)の項では、「遠隔授業ではなく、学習支援など補助的な活用から始めることが望ましい」とあり、「まだ本格導入は望ましくない」ということなのではないでしょうか？ 肯定と否定が記述されているような印象を受けます。</u> ※この資料が、会議で出された意見を整理して並べただけであるからこれでよい、ということであればよろしいかと思えます。
5	○ P 5 (2) ウ (環境整備) において、 <u>「情報端末の制限の緩和」とはどのようなことかイメージがわからないのではないのでしょうか。使用上のアプリやアクセス制限のことなのか、校外への持ち出しなどのことなのではないでしょうか？あるいはそれ以外か？</u>
	◆学校・学科の充実の方向性についての意見
3	○ 高等学校が独自で企画することはかなりの無理があり、例えば、自治体が行っている移住政策などとタイアップして、高校志願者生徒を含む、家族全員の衣食住の確保を基盤として、その後に学校独自の特色をアピールするなど、とにかく自治体のバックアップを前面に押し出して進めることも一つの迫り方として有効と考えます。いろいろな市町村が、U、J、I ターンでの移住を推し進めている現状を活用すべきと思えます。
4-5	○ ICTの活用は、現場サイドの負担等課題はあるものの、時代の要請としてできる限り進めていただきたい。
5-6	○ 特別な支援を必要とする生徒が増加傾向であるのは明らかであり、学校現場や教育委員会においてもそれを認識しているならば、特に教員配置などにおいて予算措置をスピード感を持って行い、そうした生徒への対応をしっかりと行うことが重要だと考える。
5-6	○ 文部科学省では、特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議において、令和4年3月に「特別支援教育に関わる教師の専門性向上に向けた方策」を示し、特別支援教育を担う教師に求める資質能力や、養成・採用・研修等に関する今後の方向性を提言しています。今回示された整理案では、「(3) 特別な支援を必要とする生徒への教育の充実等」の中の「(教員の資質向上)」において、「～特別支援学校との人事交流の充実や、特別支援学校・定通併置校で経験できるような人事上の工夫～」とあり、文部科学省の方向性を踏まえたものとなっているかと思えますので、今後の取組に期待したいと思います。
7-10	2 多様な主体との連携・協働
	◆学校・学科の充実の方向性についての意見
9-10	○ 学校と企業がその2つの団体間だけで模索するのは、あまり効果が得られないと思えます。しっかりと両者を結んでくれる、コーディネーターの存在は必要不可欠です。NPO など、そのような活動をメインにしている団体があります。そのような民間の力が大きな成果をもたらすことを把握しておいての連携を肝に銘じるべきだと思います。小中学校と高校との連携についても、民間の力を借りるか、両者でしっかり話し合い、誰がどのような役割をするのか、誰がコーディネートの主担当なのかを話し合わないダメだと思います。そのことをしっかり明記してこそその連携と考えます。
10	○ 「地域と連携した取組の推進」は今後とも重要と考えます。

第3 これからの時代に求められる力を育む学科等の魅力づくり

頁	項目
11-15	1 全日制課程 (1) 普通科等
◆学校・学科の充実の方向性についての意見	
①普通科	
12	○ 新たな特色も大切だが、P 1 2 上段にあるように、基礎・基本の定着と日々の授業の充実が重要であると考えている。そのための方策を考えたり、実践したりすることに注力したいと学校現場では思っている。
15-20	(2) 職業教育を主とする専門学科
◆加除修正に関する意見	
①農業科	
15	○ イ 課題 本県の農業における <u>後継者不足</u> への対応が求められている。 (修正案) →本県の農業における <u>担い手不足</u> への対応が求められている。 (修正理由) 一般的に後継者とは、農家師弟(親元就農)をイメージさせるため、非農家出身者や農業法人への雇用就農者を含め、幅広く農業を担う人財=担い手が不足しているという表記の方が適切と考える。
16	○ ウ(生徒数等の減少への対応) 2行目 「 <u>作付け品種数</u> 」とあるが、「 <u>作付け品目数</u> 」にすると、より正確な意味になります。(品種→品目)
②工業科	
16	○ <u>課題のうち、「学科改編等に伴う学びの引継ぎにより、扱う学びが多方面にわたっている。」に対応する今後の方向性について記載すべきと考える。(特段の対応案がないのであれば、課題から当該項目を削除したほうがいいのでは。)</u>
17	○ 今後の方向性のうち、「 <u>県内定着の拡大</u> 」について、「 <u>・・・企業を誘致する。</u> 」と記載しているが、工業人財の受け皿としてもものづくり企業等の誘致が重要であることに異論はないが、地場企業も重要な受け皿であり企業誘致のみの記載には違和感がある。 例えば、次のように記載してはいかかか。 (<u>工業人財の県内定着に向け、高校と官民が連携し、県内企業や県内就職の魅力を積極的に発信する。</u>)
◆学校・学科の充実の方向性についての意見	
〈職業教育を主とする専門学科全体〉	
15-20	○ 特に、工業科、商業科等においては、地元産業界との連携を強化することで、教育効果をより一層高められると思います。
④水産科	
18	○ 地球温暖化の影響で海洋環境が大きく変わる可能性が指摘されています。そうした状況下でも安定した水産資源を供給するには「 <u>陸上養殖</u> 」という観点は欠かせなくなると考えられます。 <u>「社会のニーズを踏まえた対応」で「ホタテ養殖」に触れられていますが、ホタテ以外の養殖に関し、高校で知識を深めることが重要になるのではと感じています。</u>

頁	項 目
21-22	2 定時制課程
◆加除修正に関する意見	
21	○ ア 成果 自分のペースで学ぶことに魅力を感じて入学する生徒もいるなど、 <u>多様な学び方を提供している。</u> → <u>積極的な選択をする生徒が増えてきている。</u>
22	○ ウ 今後の方向性（教員の資質向上） <u>発達障害への理解促進のため</u> → <u>発達の特性に応じた多様な指導についての理解促進のため</u>
23-24	3 通信制課程
◆加除修正に関する意見	
23	○ ア 成果 自分のペースで学ぶことに魅力を感じて入学する生徒もいるなど、 <u>多様な学び方を提供している。</u> → <u>積極的な選択をする生徒が増えてきている。</u>
23	○ ウ 今後の方向性（教員の資質向上） <u>発達障害への理解促進のため</u> → <u>発達の特性に応じた多様な指導についての理解促進のため</u>

第4 学校・学科の魅力づくりに向けた教育制度

頁	項 目
25-26	1 中高一貫教育
◆学校・学科の充実の方向性についての意見	
25-26	○ <u>受検者数の減少など課題はあるものの、メリットも議論されており、今後の方向性において何を重視するか（前向きに考えるのか慎重なスタンスでいくのか等）深掘りが必要か</u> と思います。
25-26	○ 今ある体制や施設の中で「工夫」した教育活動を求められているが、大きな特色を出すためには、大胆な差別化や取組が必要だと考える。つまり、行政的な支援（予算措置や教員配置、施設設備の充実など）を思い切って投入することもあっていいのではないかと思う。
27	3 総合選択制
◆学校・学科の充実の方向性についての意見	
27	○ 「イ 課題」若しくは「ウ 今後の方向性」における課題かもしれないが、 <u>専門学科の種類によっては、専門分野の科目を履修するだけで時間割が埋まってしまい、他学科の科目を履修する余裕がないということも聞く。導入の意義は理解できるので否定するものではないが、導入を推進するには学科の特性を踏まえる必要があるものと考えます。</u>
28	6 入学者選抜制度
◆学校・学科の充実の方向性についての意見	
28	○ 制度の問題なのか日程の問題なのか、とにかく3月は多忙すぎる。入試におけるミスを防ぐという観点からも、制度を変える、修了式日程を早める等の手立てを早急に行ってほしいと思っている。
28	○ 入学者選抜制度について、「イ 今後の方向性」に書かれているので、特に加筆・修正はないが、時期の見直しは重要と考える。早期に合格するとその後に向かう気持ちが薄くなるという声は中学校側から聞いたことがあるし、逆にあまり早いと中学校の教育課程が終えられないという中学校側の意見もあった。時期については、中学校長会の要望に高校側が応えてきたという思いがあるので、意見の集約が必要である。